

第3回佐野市特別職報酬等審議会会議録（概要）

○日時

平成28年10月31日（月）午後1時30分～2時20分

○会場

佐野市役所 7階 議会運営委員会室

○出席者

審議会委員：飯塚文子委員、稲毛明子委員、大芦宏委員、大塚登委員、
上岡良雄委員、北岡篤哉委員、篠原偉治委員、島田嘉内委員、
綿引寿男委員

事務局：行政経営部長、行政経営課長、事務局職員

○欠席者

審議会委員：小野勉委員

○傍聴者 なし

○会議経過

1. 開 会
2. 審 議

（発言の要旨）

会長：2回目の審議の際に付帯事項をつけたうえで、報酬の引き上げの結論を得た。しかし、事情が変わってきた。富山県会議員やそのほかの市議会議員の政務活動費の問題が大きく全国的な問題となっている。もう一度ご意見をいただきたい。事務局より報道等の説明をまずお願いしたい。

事務局：政務活動費不正受給等について報道された新聞記事を読み上げる。

会長：欠席の委員から意見をいただいているので朗読する。

委員① 引き上げとせず、据え置きとするべきだと思う。富山市議会でも政務活動費の不正による辞職者が相次ぐなど、全国で今、その不透明さが指摘されている。佐野市でも領収書の閲覧に一部不透明な部分があるとの報道もあり、市民の厳しい視線が向けられていると思う。報酬の引き上げ、見送るべきと思う。

会長：前回、付帯意見を付け加えた上での引き上げを適当としたが、前回の審議会後の急速な変化、社会情勢の変化が出てきているので、報酬については、総合的な判断から、今回は据え置きとすることが適当と思われる。

委員②：会長の意見に全面的に賛成する。現在の状況の中では、やはり市民の理解を得ることは困難であると思われるため、今回は、前回までの検討を白紙に戻したうえで、据え置きとすることに賛成する。

委員③：前回、引き上げに賛成したが、これだけ政務活動費が全国的に問題となっている中では、据え置きとしたい。また、付帯意見の中で、政務活動費について、懸案として付け加えていただきたい。

委員④：前回、引き上げに付帯をつけて賛成したが、現状維持に賛成したい。女性と若者を市政に参加させることは、総合的に検討すべき課題だと思う。今回は現状維持で賛成する。

委員⑤：前は引き上げに賛成したが、不正受給の報道を受けて、やはり市民感情が厳しいところはあると思われる。今回は、据え置きということで意見を述べさせていただく。

委員⑥：前回と意見は変わらず、据え置きということで意見を述べる。議員報酬は、他の市でもほとんど変わっていない。一般の給与も上がってきていないので、引き上げをする局面ではない。女性がなりにくいという佐野市の状況や若い人が立候補しにくい議員の活動のあり方など、もう一度考え直し、女性や若者が入りやすい議員活動を考えていかななくてはならないと思う。政務活動費は、市民の理解が得られるように全面公開を実施していただきたい。据え置きで様子を見るということでもいいのではないかと思う。

委員⑦：前は意見書で賛成ということで意見を述べたが、今の状況を考えると議員報酬と政務活動費は切り離して考えるべきではないかと思う。市民感情から考えると、現状維持がよいと思う。

委員⑧：現状維持でいいと思う。他の議会における政務活動費の使途について問題視されている実態を踏まえ、この時期に引き上げを実施することは、市民の理解を得ることができないと考える。したがって、現状維持の答申が適切と考える。

委員⑨：私も当初は議員定数の削減、将来を見ればさらにもう一段の削減もあるのではないかとことも考え、今回の引き上げはやむを得ないのではないかと意見を申し上げさせていただいた。しかし、これだけ全国的に政務活動費の問題が取りざたされている中では、今回は据え置きとすることが一番よい結論になるのではないかと思う。

会長：ここで、まず諮らせていただきたい。現状据え置きということに賛成の方は挙手をお願いしたい。挙手全員ということで、今回は据え置きということに決定する。

付帯事項について、ご意見をいただきたい。私は付帯事項を付けたほうが良いと考える。

委員③：私も付けたほうが良いと思う。政務活動費は、議員自ら公開していただきたい。インターネット公開や、完全後払いとして、また検索できる方法を取るなどの意見を付けたい。

委員⑦：強制されて公開するのではなく、積極的に公開して欲しい。

会長：議員の定数はどう思うか。

委員②：議員の定数は、このまま減らしてほしい。1期目の当選の方と複数回当選した方が同じということには、市民の方も疑問を持つと思う。逆傾斜の給与のような工夫も必要となってくるのではないかと思う。

委員④：若者、女性の参加を報酬だけで変えることは難しいと思われる。雰囲気作りが重要であると考えます。また、政務活動費については、何かしら閲覧できるようにしてもらいたい。

委員⑤：市民の信頼を得る方法はいくらかでもあるとは思いますが、政務活動費を広く公開してどのような政務活動をしたかということ、広く市民に知らせるような方策を考えていただきたい。

委員⑥：政務活動費については、議事課に確認すれば見せてもらえるとのことであった。しかし、黒塗りの部分なく、簡単に検索できるようにしていただきたい。政務活動費については、年間30万円というのは決して少ない額ではなく、十分な額と思っている。十分にそれが使用されたものが市民にわかるように報告していただきたい。議員数は、他市と比較しても決して多いということではなく、むしろ減った分負担が多くなるかなというところもあるので、議員の定数については様子を見て、人口減少などの状況に応じて減らしていく可能性もある。若者や女性が参加しやすい議会になる方策をお願いしたい。

委員⑦：政務活動費は30万円ということで、それほど多いとは思わない。インターネット公開や後払いにすれば透明性は高まるのではないかと思う。

委員⑧：議員定数は、引き続き研究をお願いし、今後とも議員自ら身を切る覚悟で取り組んでいただきたい。政務活動費は、市民の税金からの支出ということを踏まえて、公開していただきたい。

委員⑨：政務活動費は、若干足らなそうなので報酬も上げてもいいのではないかなという思いもあった。しかし、社会的に問題となっているため公開が必要であると思う。議員の定数は、足利の人口と比較してすると若干減らしてもいいのではないかと思われる。人口だけで考えると将来を考えて減らしてもいいのではないかと思う。

会長：館林市は20人とのこと。桐生市でも少ない。佐野市は、足利市と同じになったが、まだ佐野市では議員の削減は時代の流れだと思う。議員を減らしてよいという方は挙手をお願いする。

委員②：質問してよろしいか。今回、議員定数をどうするつもりか。

委員⑧：付帯要件として定数のことや政務活動費を出すのは適切なのか。

事務局：そのほかの意見として付帯意見を出すことは可能であると思う。

会長：前回の答申案でもさらなる削減を求めるという付帯事項も含めて決定していた。

委員⑧：議員定数の減については、引き続き検討していくということになるのか。

会長：前回は付帯事項の中に、そういったことを入れるということで決定している。それと、2人減らす代わりに、1人分を増額するというようにしている。さらに付帯事項として更なる削減をお願いするというかたちにしてある。

委員⑧：政務活動費は、報酬と異なるが、この件については、付帯要件として追加していいのか。

事務局：総合的に見て報酬を検討してもらっており、審議の中で触れた内容なので審議会の意見として付帯意見とすることは可能であると思われる。

委員⑧：今回の招集の理由は、全国的な政務活動費の社会的な問題が社会的にも大きいと、引き上げから現状維持に決定したわけなので、議員定数の削減問題、政務活動費の全面公開の2つくらいは入れなくてはいけないのでは

ないかと思う。

会長：定数削減と政務活動費については、事務局で案を作成し、写しをみなさんに渡すことでよろしいか。

複数委員：会長と事務局に一任する。

事務局：議員定数については、会長に確認をしていただく。政務活動費についても、強要するものではないような文言を考えたいと思う。

委員⑥：人口減を考慮した議員定数の削減を議員も考えてくださいといったような形にしていくほうがよいと思う。「減らせ」だけでは、議員活動に支障がないか。もっと長い目で見ていく必要があるのではないか。

委員④：同意見である。議員定数を付帯事項に入れることはいいとは思いますが、今後の人口減少を考えた上で、総合的に考えてくださいといった記載方法がよいと思う。

会長：前回まで付帯事項に議員定数の削減についても記載するとしていた。現状維持か削減かの挙手を取りたい。

委員⑥：人口減少を踏まえて、議会でも考えていただきたいという意味合いでお願いしたい。

事務局：付帯意見に強制力はない。

会長：ランカスター市などは市会議員がすごく少ない。それを考えると日本はまだまだ多いと考えられる状況にある。

委員⑨：議会を縛るようなものではない、なにかいい言葉で表現もらえればいいのか。

委員⑧：定数の減というところに言及するかどうかだと思う。適正な定数が何を尺度にしているか市町村によって変わってくると思う。人口減少に伴う議員定数について研究、検討をしてくださいといった記載にしていく必要があると思う。

会長：政務活動費と議員定数を付帯事項とさせていただいてよろしいか。よろしければ挙手をお願いする。賛成多数なので、付帯事項とさせていただく。

以上で終わりにする。

3. その他

4. 閉 会